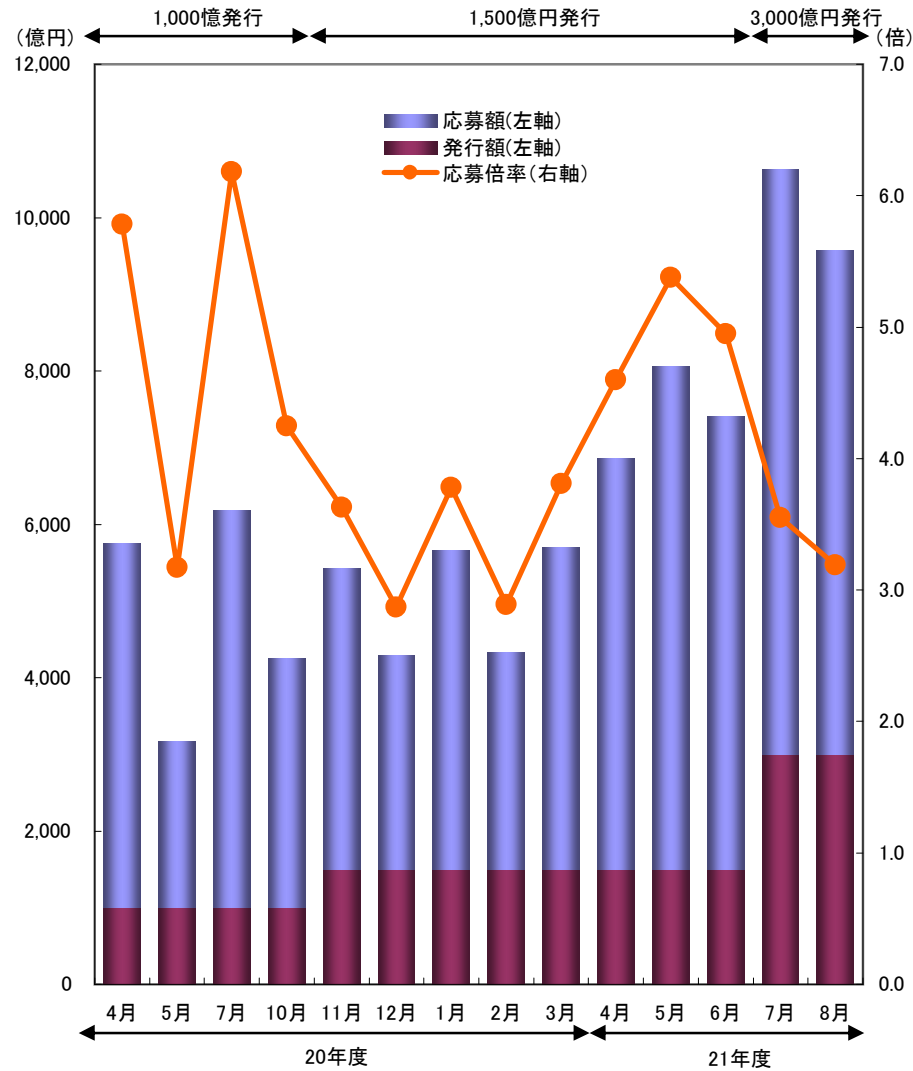


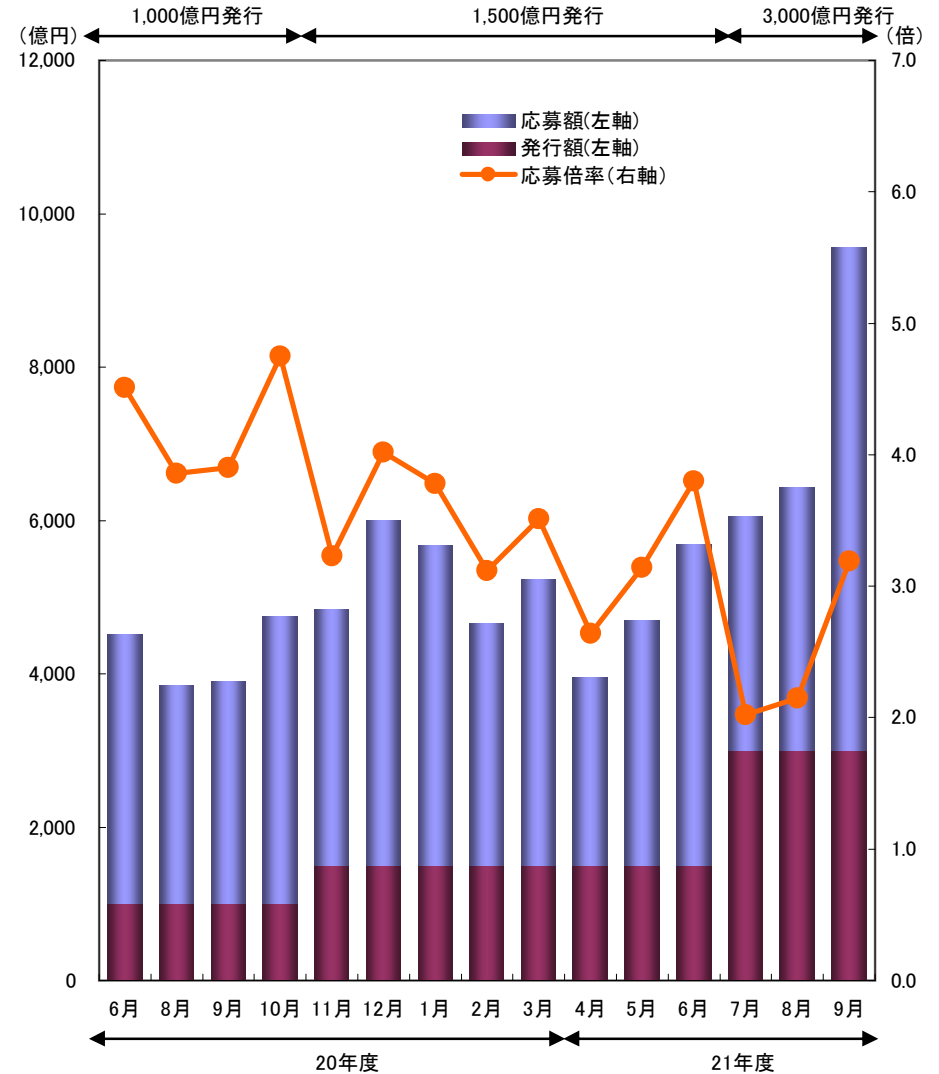
流動性供給入札の状況①(発行・応募額)

資料 1 - 1

①残存5(6)～15(16)年ゾーン



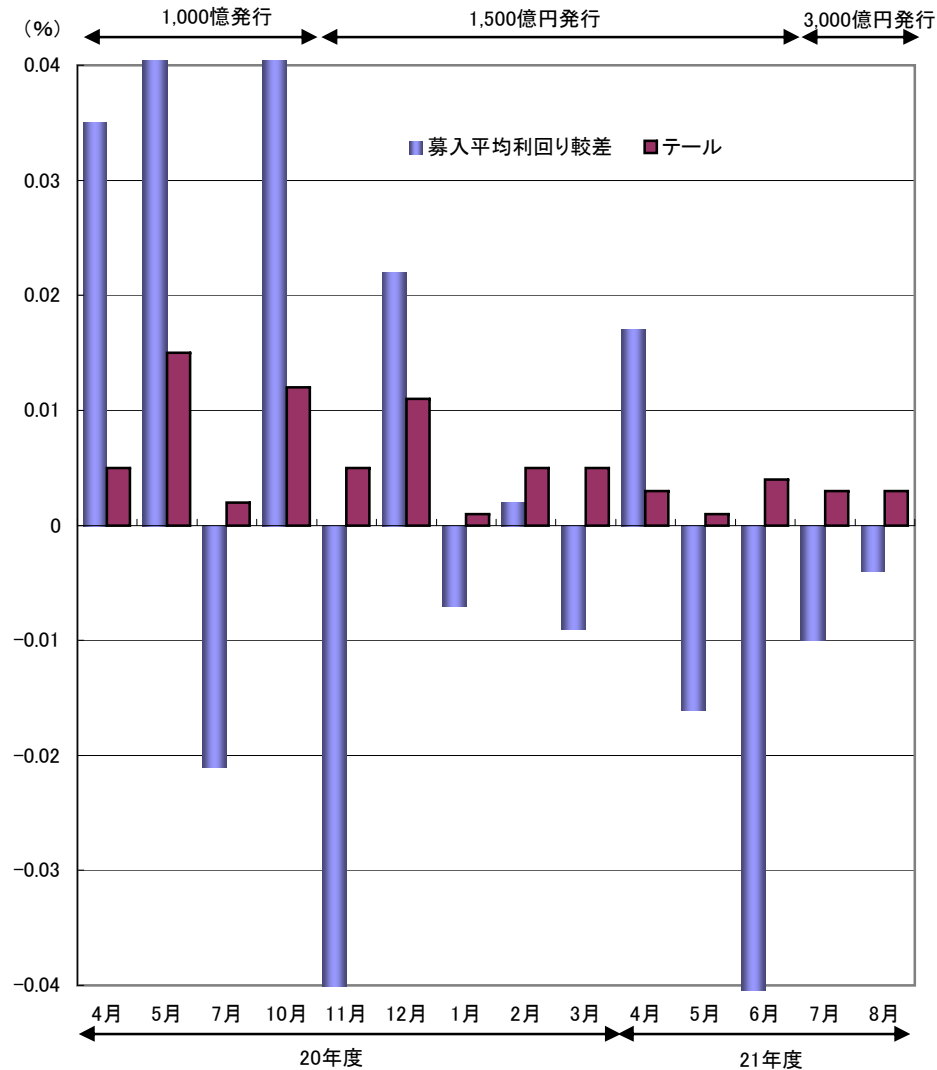
②残存15(16)～29年ゾーン



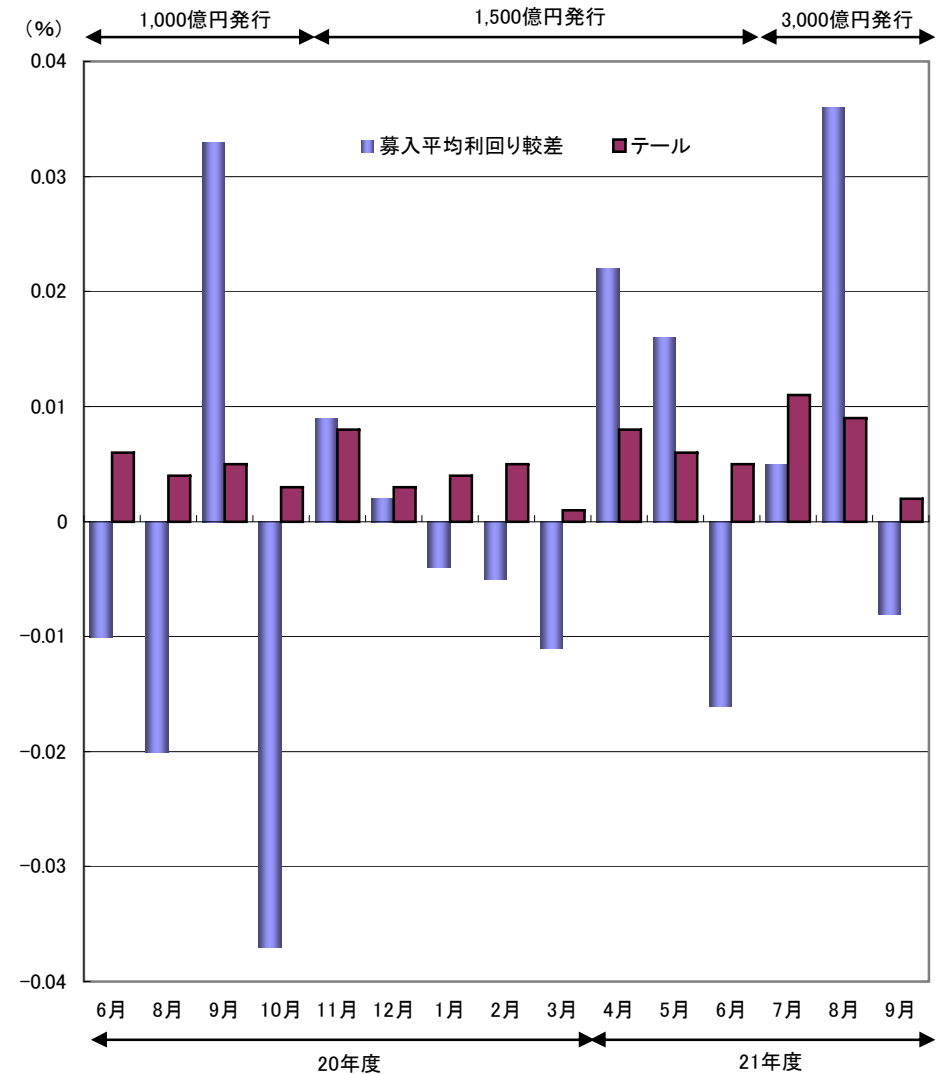
流動性供給入札の状況②(募入平均利回り較差、テール)

資料 1 - 2

①残存5(6)～15(16)年ゾーン



②残存15(16)～29年ゾーン



(注) 流動性供給入札は、日証協の公社債売買参考統計値表に基づく入札前営業日の引値からの希望利回り較差・コンペンショナル方式により実施。
募入最大利回り較差(募入決定分の利回り較差の最大値)と募入平均利回り較差(募入決定分の利回り較差の平均値)の差がテールとなる。

平成 21 年 10-12 月の流動性供給入札の実施案

論点1. 基本的なゾーン区分・発行金額

考え方	ゾーン区分	1 回当たり発行金額 (毎月各ゾーン 1 回ずつ)
①現状維持案	現状維持 〔 I. 残存 15～29 年:20 年 80～110 回債、30 年 2～30 回債 II. 残存 5～15 年:10 年 268～300 回債、20 年 53～79 回債 〕	現状維持 〔 I・II 共に 3,000 億円 〕
②金額調整案	現状維持 〔 ①と同じ 〕	ゾーン I を減額 〔 I …… 2,400 億円(例) II …… 3,600 億円(例) 〕
③ゾーン調整案	ゾーン I を拡大 〔 I. 残存 13～29 年:20 年 61～110 回債、30 年 2～30 回債<但し、一部銘柄対象外> II. 残存 5～13 年:10 年 268～300 回債、20 年 44～60 回債< “ > 〕	現状維持 〔 ①と同じ 〕
④3 ゾーン案	ゾーン新設 〔 I. 残存 15～29 年:20 年 80～110 回債、30 年 2～30 回債 II. 残存 8～15 年:10 年 290～300 回債、20 年 44～60 回債 III. 残存 3～8 年: 5 年 69～82 回債、10 年 244～289 回債 〕	3 ゾーン均等配分 〔 I・II・III 共に 2,000 億円 〕
⑤その他		

論点2. 40 年 1 回債の対象化について